

基礎研 レポート

全国旅行支援の利用状況

「第11回 新型コロナによる暮らしの変化に関する調査」より

生活研究部 上席研究員 久我 尚子
(03)3512-1878 kuga@nli-research.co.jp

1—はじめに～政府による観光需要の喚起策「全国旅行支援」の利用状況は？

昨年10月から、政府は新型コロナウイルスの感染拡大で需要が低迷した観光業の需要喚起策として、利用額の一部を負担する「全国旅行支援¹」を実施している。この「全国旅行支援」は、帰省などの移動の多い年末年始期間は一旦休止されたが、新たな行動制限が必要な事態が生じないことを前提に1月10日から再開されている。

なお、政府はコロナ禍の同様の施策として、既に2020年7月から12月末にかけて「GoToトラベル」等を実施しており、その際の消費者の利用意向については[既出レポート](#)に記載の通りである²。

本稿では、2022年12月下旬にニッセイ基礎研究所が実施した「第11回 新型コロナによる暮らしの変化に関する調査³」のデータを用いて、「全国旅行支援」の利用状況について、性年代などの属性や「GoToトラベル」利用経験の違いなどに注目しながら捉えていく。

2—「全国旅行支援」の利用状況～利用率は約2割、時間や経済的な余裕のある層で利用が多い

1 | 全体の状況～2022年末までの利用率は21.1%、うち41.1%が複数回利用の積極層

まず、20～74歳全体について「全国旅行支援」の利用状況を見ると、12月下旬の調査時点では利用率は21.1%（「複数回利用・利用予定」：8.7%と「1回だけ利用・利用予定」：12.4%の合計値）であり、利用者のうち複数回利用の積極層は41.1%を占める（図表1）。

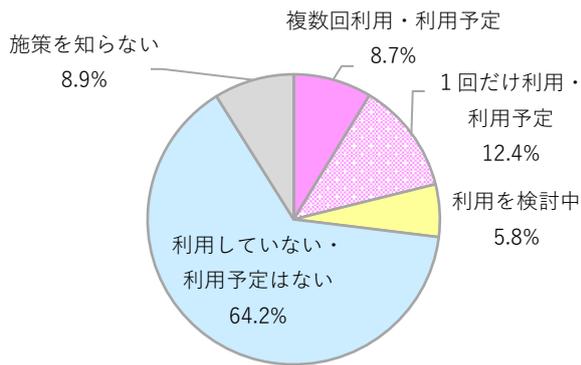
一方で「利用していない・利用予定はない」（64.2%）は6割を超えて圧倒的に多い。また、「施策を知らない」（8.9%）も1割弱を占める。

¹ 2022年10月11日～12月27日は、旅行代金の40%相当が割引（割引上限額は1人1泊あたり交通付旅行商品は8,000円、その他は5,000円）、現地で使用できるクーポン券が配布（平日は1人1泊あたり3,000円、休日1,000円）。2023年1月10日以降は割引額が引き下げ（旅行代金の20%相当で上限額は交通付き旅行商品は5,000円、その他は3,000円、クーポン券は平日2,000円、休日1,000円）。

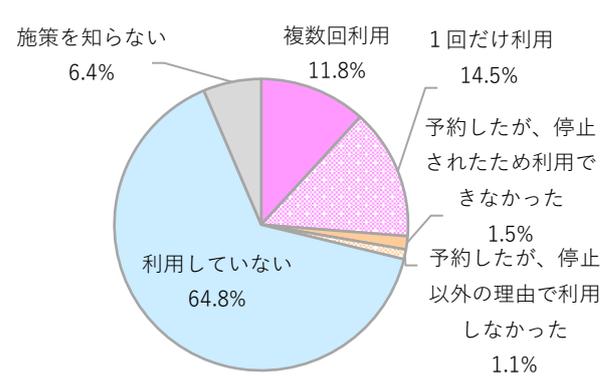
² 久我尚子「[GoToトラベル・イートの利用意向](#)」、ニッセイ基礎研レポート（2020/10/13）

³ 調査時期は2022年12月21日～12月26日、調査対象は全国に住む20～74歳、インターネット調査、株式会社マクロミルのモニターを利用、有効回答2,582。

図表1 「全国旅行支援」の利用状況 (n=2,582)



図表2 「GoToトラベル」の利用状況 (n=2,582)



(資料) ニッセイ基礎研究所「第11回 新型コロナによる暮らしの変化に関する調査」

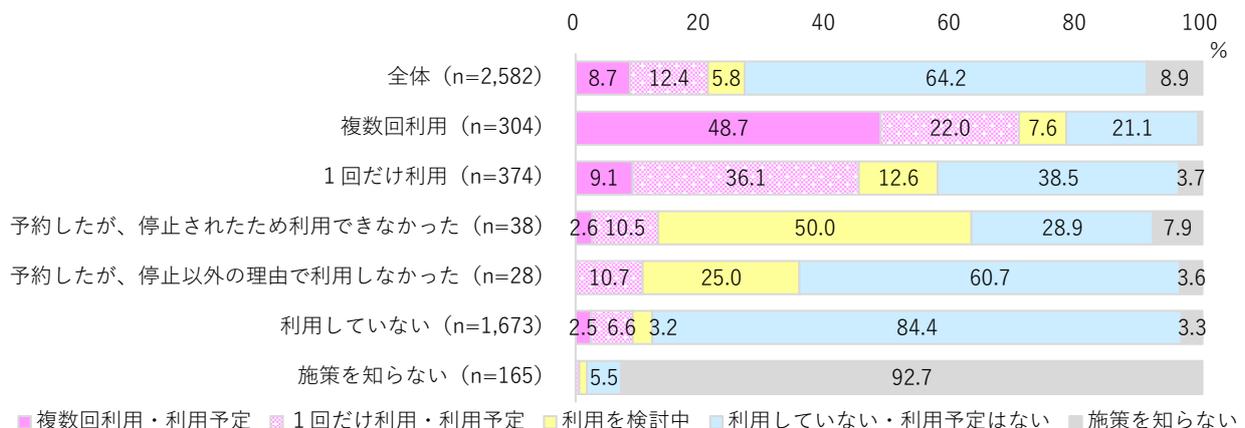
また、当調査では、あらためて2020年に実施された「GoToトラベル」の利用経験も尋ねているのだが、利用率は26.3%（「複数回利用」：11.8%と「1回だけ利用」：14.5%の合計値）、うち積極層は44.8%を占める一方、「利用していない」（64.8%）は6割を超えて多い（図表2）。

つまり、「全国旅行支援」と「GoToトラベル」の消費者の利用状況は、おおむね同様の傾向を示しており、利用者は2割程度、うち約4割が複数回利用の積極層である一方、約6割は利用しておらず、利用者には偏りがある様子がうかがえる。

2 | 「GoToトラベル」利用経験別の状況～「GoToトラベル」利用者の56.6%が「全国旅行支援」を利用

2020年に実施された「GoToトラベル」の利用経験別に「全国旅行支援」の利用率を見ると、「GoToトラベル」を複数回利用した層では70.7%（うち積極層は68.8%）、1回だけ利用した層では45.2%（同20.1%）を占め、「GoToトラベル」の利用に積極的である層ほど「全国旅行支援」の利用にも積極的である（図表3）。また、これらの「GoToトラベル」を複数回利用した層と1回だけ利用した層をあわせた「GoToトラベル」利用者層の「全国旅行支援」の利用率は56.6%（同47.4%）となる。一方、「GoToトラベル」非利用者層の「全国旅行支援」の利用率は9.1%にとどまる。

図表3 「GoToトラベル」利用経験別に見た「全国旅行支援」の利用状況



(注1) 1%未満は表記省略

(注2) 「予約したが、停止以外の理由で利用しなかった」層の数値は参考値

(資料) ニッセイ基礎研究所「第11回 新型コロナによる暮らしの変化に関する調査」

3 | 性年代やライフステージ別の状況～時間に余裕のある未就学児の子育て世帯や高齢層で利用が多い

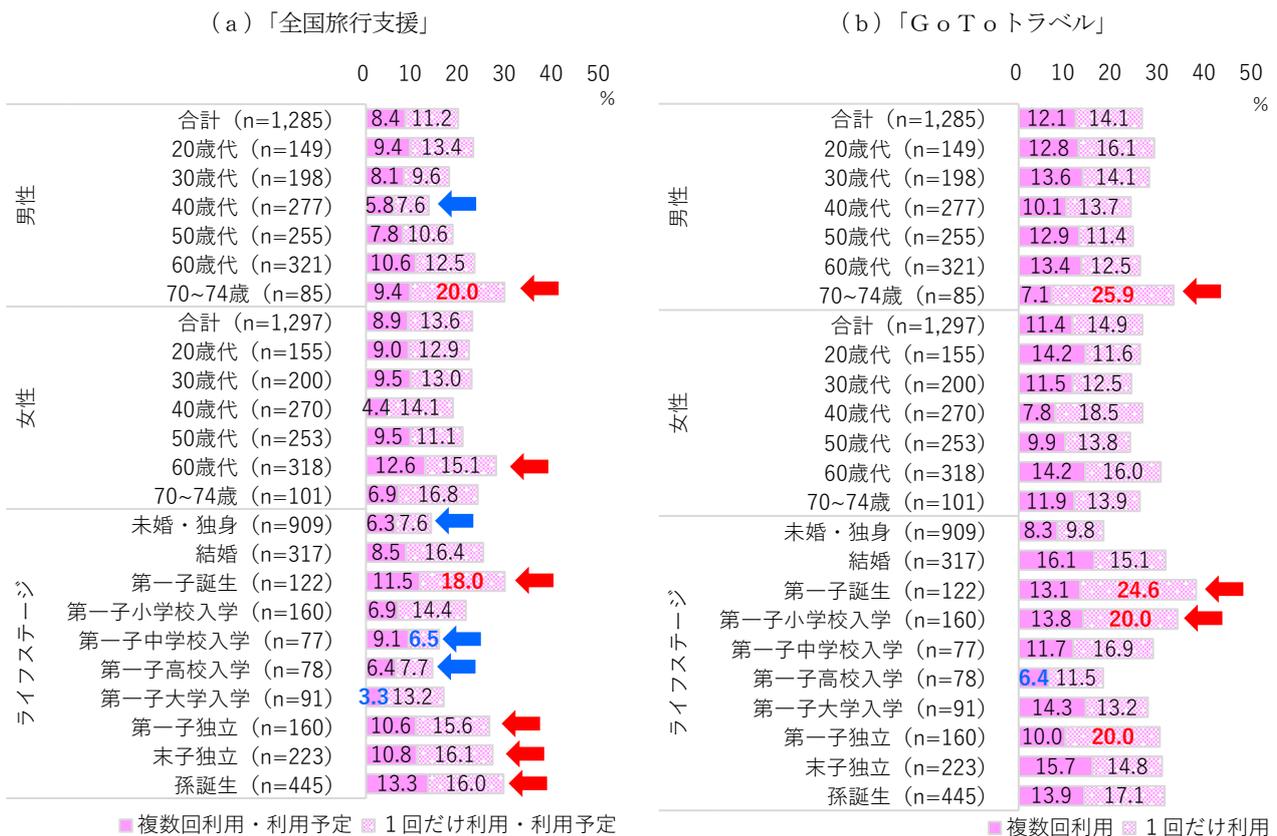
性年代別に「全国旅行支援」の利用率を見ると、男女とも40歳代を底に高齢層と若い年代で比較的高い傾向があり、男性は70～74歳(29.4%、全体より+8.3%pt)、女性は60歳代(27.7%、同+6.6%pt)で全体を+5%pt以上、上回る(図表4(a))。

ライフステージ別には、利用率は第一子誕生(29.5%、同+8.4%pt)や孫誕生(29.2%、同+8.1%pt)、末子独立(26.9%、同+5.8%pt)、第一子独立(26.3%、同+5.2%pt)で高く、未婚・独身(13.9%、同▲5.7%pt)や中高生などの学校生活を送る子どものいる子育て世帯では低い傾向がある。

つまり、「全国旅行支援」の利用は、平日も含めて旅行の日程を組み立てやすく、時間に比較的余裕のある未就学児の子育て世帯や子育てが終了した世帯で積極的である様子が見てとれる。

一方、「GoToトラベル」は、夏休みの旅行需要を期待して2020年7月下旬に開始された影響もあり、10月という学期半ばに開始された「全国旅行支援」とは異なり、利用率は第一子誕生(37.7%、同+11.4%pt)や第一子小学校入学(33.8%、同+7.5%pt)などの学校生活を送る子どものいる子育て世帯でも、「全国旅行支援」の利用率と比べて高い(図表4(b))。また、「GoToトラベル」が実施されたのはコロナ禍1年目で、感染予防対策と外出行動の両立に試行錯誤していた時期であるためか、時間に比較的余裕のある高齢世帯での利用は、「全国旅行支援」ほど目立って高いわけではない。

図表4 性年代やライフステージ別に見た「全国旅行支援」と「GoToトラベル」の利用率



(注) それぞれ全体より+5%以上を赤字、-5%以下を青字で表記。また、利用率が全体より+5%以上を赤の矢印、-5%未満に青の矢印を記載。

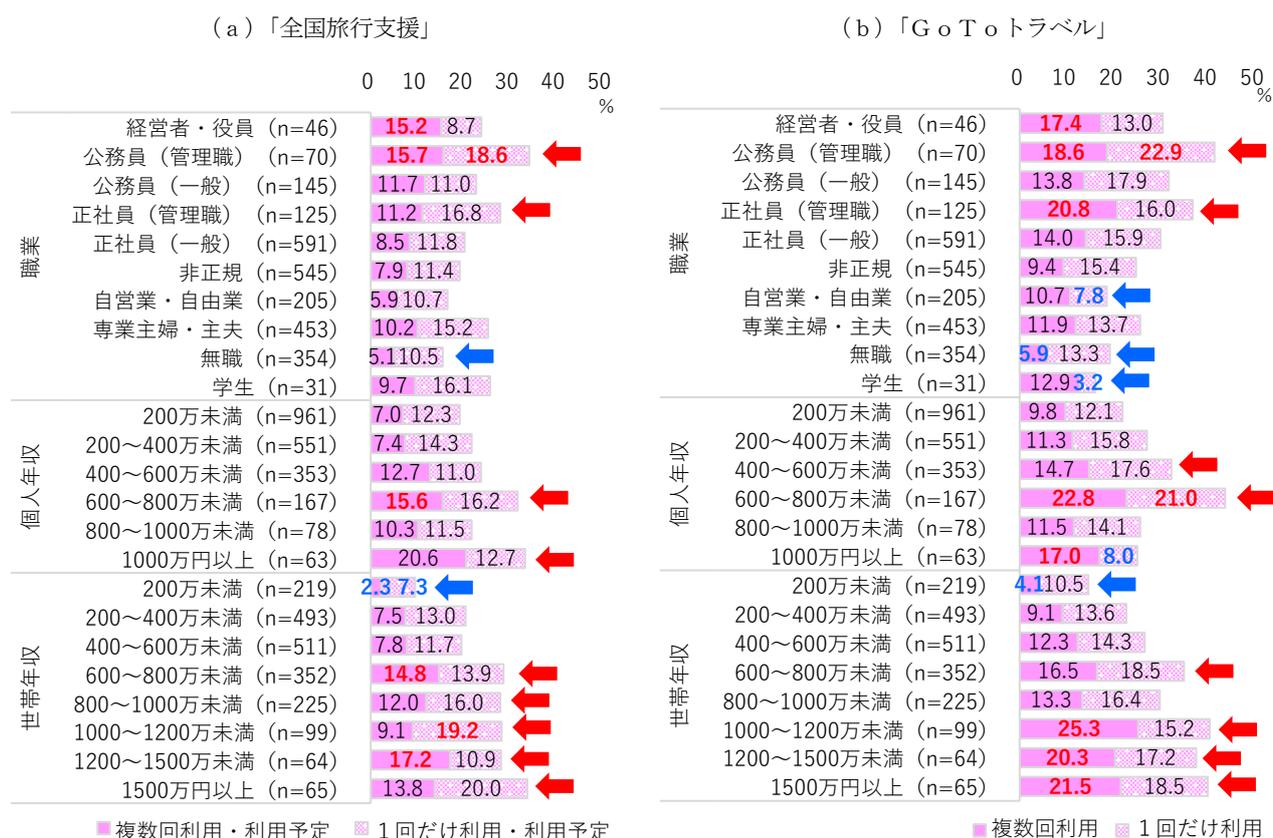
(資料) ニッセイ基礎研究所「第11回 新型コロナによる暮らしの変化に関する調査」

4 | 職業別や年収別の状況～経済的に比較的余裕のある管理職層や年収 600 万円以上などで利用が多い

「全国旅行支援」の利用率を職業や年収別に見ると、公務員（管理職）（34.3%、同+13.2%pt）や正社員（管理職）（28.0%、同+6.9%pt）、個人年収 600 万円～800 万円未満（31.7%、同+10.6%pt）や 1,000 万円以上（33.3%、同+12.2%pt）、世帯年収 600 万円以上のすべて、このうち特に 1,500 万円以上（33.8%、同+12.7%pt）で高い一方、無職（15.6%、同▲5.5%pt）や世帯年収 200 万円未満（9.6%、同▲11.5%pt）では低い（図表 5（a））。

つまり、経済的に比較的余裕のある層で「全国旅行支援」の利用に積極的である様子が見てとれる。また、「Go To トラベル」でもおおむね同様の傾向が見られる（図表 5（b））。

図表 5 職業や年収別に見た「全国旅行支援」と「Go To トラベル」の利用率



(注1) 非正規には公務員（非正規）および、民間企業の嘱託・契約社員や派遣社員、パート・アルバイトを含む。
 (注2) それぞれ全体より+5%以上を赤字、-5%以下を青字で表記。また、利用率が全体より+5%以上を赤の矢印、-5%未満に青の矢印を記載。
 (資料) ニッセイ基礎研究所「第11回 新型コロナによる暮らしの変化に関する調査」

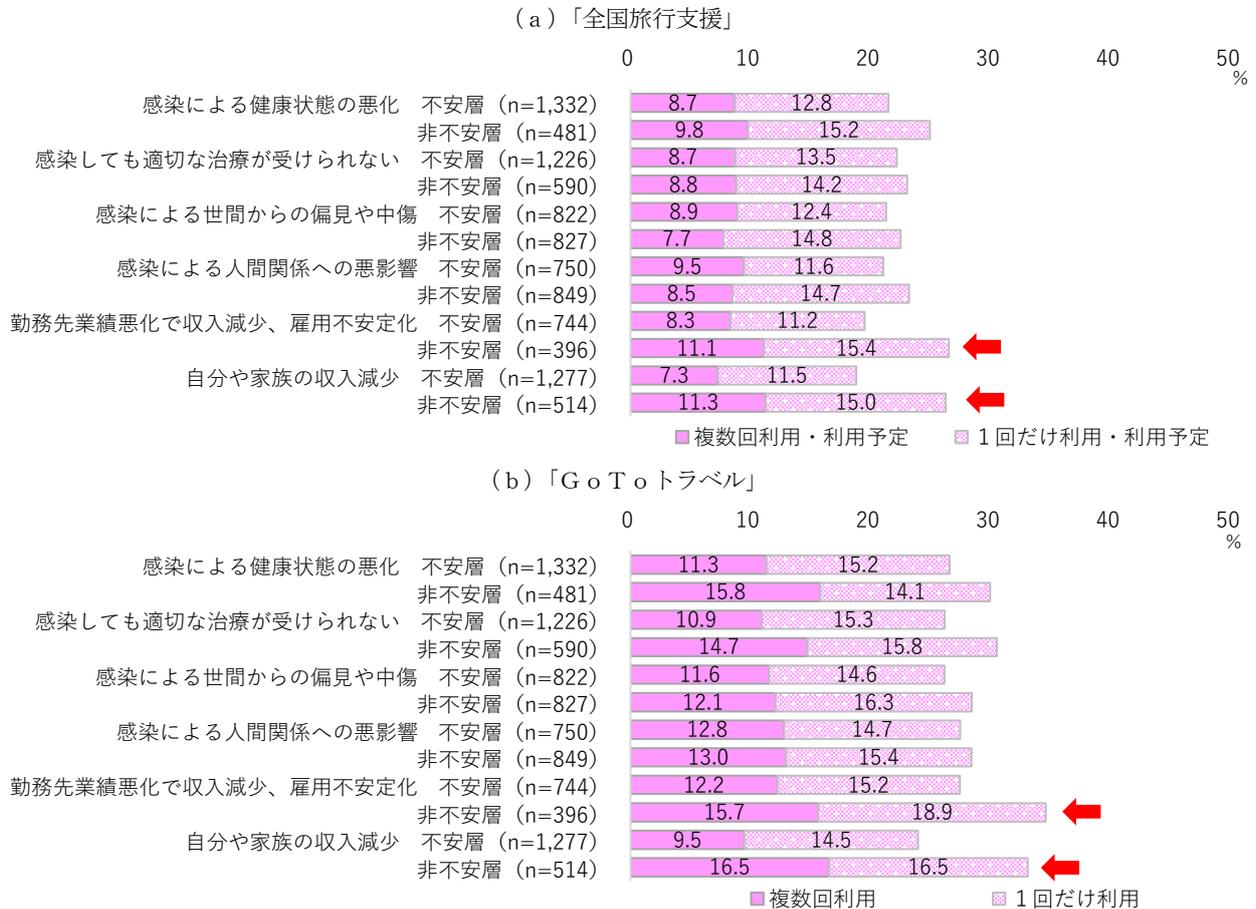
5 | コロナ禍の不安別の状況～経済的に不安のない層で利用が多い、感染不安による大きな差異はなし

「全国旅行支援」の利用率をコロナ禍の不安別に見ると、「勤務先業績悪化で収入減少、雇用不安定化」の非不安層（26.5%、同+5.4%pt）や「自分や家族の収入減少」の非不安層（26.3%、同+5.2%pt）で高い（図表 6（a））。なお、いずれの不安でも、非不安層の方が不安層と比べて利用率は高いが、「感染による健康状態の悪化」や「感染しても適切な治療が受けられない」、「感染による世間からの偏見や中傷」では不安層・非不安層ともに全体と比べて大きな差異は見られない。

つまり、「全国旅行支援」の利用は、感染への不安というよりも、経済的に不安のない層で積極的である様子が見てとれ、前項の職業や年収別に見た傾向と一致する。

また、「GoToトラベル」でもおおむね同様の傾向が見られる（図表6（b））。

図表6 コロナ禍の不安別に見た「全国旅行支援」と「GoToトラベル」の利用率



(注1) それぞれの不安について「非常に不安」「やや不安」「どちらともいえない」「あまり不安ではない」「全く不安ではない」「該当しない」の6つの選択肢から回答を得ており、不安層は「非常に不安」と「やや不安」、非不安層は「全く不安ではない」と「あまり不安ではない」を選択者。

(注2) それぞれ全体より+5%以上を赤字、-5%以下を青字で表記。また、利用率が全体より+5%以上を赤、-5%未満に青の矢印を記載。

(資料) ニッセイ基礎研究所「第11回 新型コロナによる暮らしの変化に関する調査」

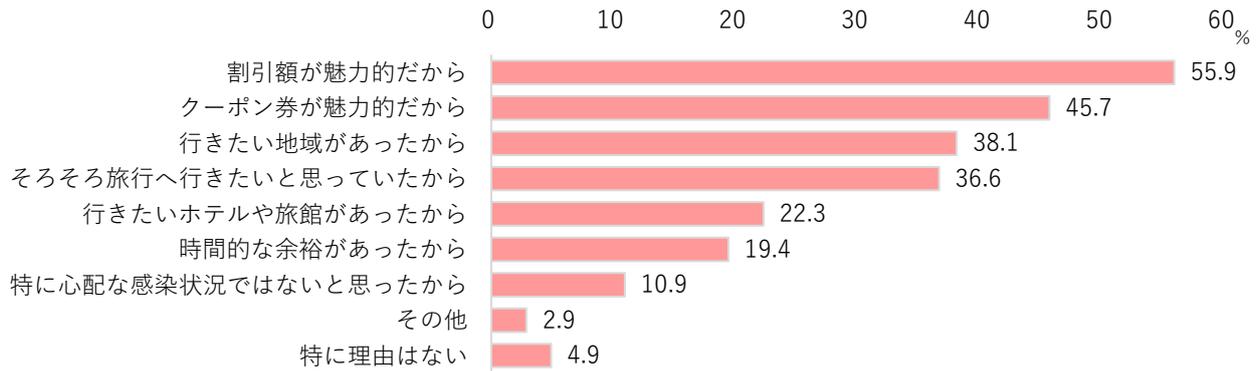
3—「全国旅行支援」を利用した理由～お得感は子育て世帯で強く、高収入層の旅行需要の後押しにも

1 | 全体の状況～最多は割引額の魅力で過半数、次いでクーポン、そろそろ旅行へ行きたかったも3割超

「全国旅行支援」の利用状況で「複数回利用・利用予定」や「1回だけ利用・利用予定」、「利用を検討中」を選択した回答者に対して、利用した・利用を考えた理由を尋ねたところ、最も多かったのは「割引額が魅力的だから」(55.9%)で過半数を占め、次いで「クーポン券が魅力的だから」(45.7%)、「行きたい地域があったから」(38.1%)、「そろそろ旅行へ行きたいと思っていたから」(36.6%)までが3割を超えて続く（図表7）。

前節の結果を踏まえると、時間や経済的に比較的余裕のある層が、割引額等に魅力を感じ、積極的に旅行をしているという様子が見て取れる。

図表7 「全国旅行支援」を利用した・利用を考えた理由（複数選択、n=696）



(注) 上から「特に理由はない」を除いて選択割合の高い順
 (資料) ニッセイ基礎研究所「第11回 新型コロナによる暮らしの変化に関する調査」

2 | 性年代やライフステージ別の状況～子育て世帯は割引額の魅力を強く感じ、高齢層は目的地も重視

性年代やライフステージ別に見ても、「割引額が魅力的だから」や「クーポン券が魅力的だから」が上位を占めるが、40歳代や第一子小学校入学では2位に「そろそろ旅行へ行きたいと思っていたから」があがる（図表8 (a)・(b)）。

全体と比べると、「割引額が魅力的だから」は30歳代（63.1%、全体より+7.2%pt）や第一子誕生（63.6%、同+7.7%pt）で、「クーポン券が魅力的だから」は30歳代（55.3%、同+9.6%pt）や20歳代（53.0%、同+7.3%pt）、第一子誕生（54.5%、同+8.8%pt）で、「行きたい地域があったから」は第一子独立（45.1%、同+7.0%pt）や末子独立（44.4%、同+6.3%pt）で、「そろそろ旅行へ行き

図表8 性年代やライフステージ別に見た「全国旅行支援」を利用した・利用を考えた理由

(a) 性年代別

	全体	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70~74歳
度数	696	335	361	100	103	126	122	189	56
割引額が魅力的だから	55.9	54.0	57.6	56.0	63.1	55.6	51.6	53.4	60.7
クーポン券が魅力的だから	45.7	42.4	48.8	53.0	55.3	38.9	41.0	42.9	50.0
行きたい地域があったから	38.1	36.1	39.9	38.0	36.9	31.7	38.5	42.3	39.3
そろそろ旅行へ行きたいと思っていたから	36.6	32.5	40.4	33.0	44.7	41.3	36.1	30.2	41.1
行きたいホテルや旅館があったから	22.3	17.3	26.9	24.0	21.4	18.3	18.0	26.5	25.0
時間的な余裕があったから	19.4	16.7	21.9	20.0	22.3	17.5	17.2	21.7	14.3
特に心配な感染状況ではないと思ったから	10.9	13.4	8.6	12.0	12.6	7.9	12.3	11.6	7.1
その他	2.9	2.7	3.0	2.0	1.9	1.6	3.3	4.2	3.6
特に理由はない	4.9	6.6	3.3	4.0	2.9	7.1	5.7	5.3	1.8

(b) ライフステージ別

	全体	未婚・独身	結婚	第一子誕生	第一子小学校入学	第一子中学校入学	第一子高校入学	第一子大学入学	第一子独立	末子独立	孫誕生
度数	696	187	93	44	43	22	17	22	51	72	145
割引額が魅力的だから	55.9	57.2	57.0	63.6	55.8	45.5	41.2	45.5	54.9	55.6	56.6
クーポン券が魅力的だから	45.7	45.5	45.2	54.5	39.5	45.5	29.4	22.7	47.1	50.0	48.3
行きたい地域があったから	38.1	40.6	30.1	36.4	27.9	27.3	29.4	40.9	45.1	44.4	40.0
そろそろ旅行へ行きたいと思っていたから	36.6	35.3	37.6	50.0	41.9	45.5	47.1	27.3	35.3	37.5	31.0
行きたいホテルや旅館があったから	22.3	19.3	20.4	25.0	23.3	31.8	17.6	13.6	23.5	26.4	24.1
時間的な余裕があったから	19.4	17.1	20.4	18.2	27.9	9.1	17.6	22.7	17.6	23.6	19.3
特に心配な感染状況ではないと思ったから	10.9	10.2	8.6	11.4	14.0	13.6	17.6	13.6	7.8	13.9	10.3
その他	2.9	1.6	3.2	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	4.2	4.8
特に理由はない	4.9	4.8	4.3	6.8	4.7	13.6	11.8	9.1	2.0	4.2	3.4

(注1) 上から「特に理由はない」を除いて全体で選択割合の高い順

(注2) 全体より+5%以上をピンク色、-5%以下を水色で網掛け、斜字は参考値。

(資料) ニッセイ基礎研究所「第11回 新型コロナによる暮らしの変化に関する調査」

たいと思っていたから」は30歳代(44.7%、同+8.1%pt)や第一子誕生(50.0%、同+13.4%pt)、第一子小学校入学(41.9%、同+5.3%pt)などの子育て世帯で、「時間的な余裕があったから」は第一子小学校入学(27.9%、同+8.5%pt)が多い。

つまり、性年代やライフステージによらず、「全国旅行支援」を利用する主な理由は割引額やクーポン券のお得感であるものの、子どもの年齢が比較的低い子育て世帯では、お得感をより強く感じている。また、高齢層では目的地が対象であることも重視する傾向がやや強いようだ。

なお、「[物価高進行下の消費者の状況](#)」(2022/10/21)で見た通り、子育て世帯ではコロナ禍で収入が減少した層が比較的多く、物価高への負担感が強いいため、不要品の購入控えやポイントやセール等の活用、低価格製品への乗り換え、外食や洋服の購入、旅行などを控えるなど、あらゆる面で支出を抑制する工夫が見られた。また子育て世帯では従来から旅行やレジャー需要が強い。これらの背景が子育て世帯では「全国旅行支援」に対して、お得感をより強く感じている、「そろそろ旅行へ行きたいと思っていたから」といった理由が多いことにつながるのだろう。

3 | 職業や年収別の状況～高収入層は割引がきっかけというより、もともと旅行需要があり、施策が後押し

職業や年収別に見ても、割引額やクーポン券の魅力が上位を占めるが、自営業・自由業や無職では2位に「行きたい地域があったから」が、世帯年収1,000万円～1,200万円未満では首位に「そろそろ旅行へ行きたいと思っていたから」があがる(図表9(a)・(b)・(c))。

全体と比べると、「割引額が魅力的だから」は無職(61.2%、全体より+5.3%pt)や個人年収200万円未満(61.3%、同+5.4%pt)、世帯年収200万円未満(71.0%、同+15.1%pt)、世帯年収400～600万円未満(65.1%、同+9.2%pt)で、「行きたい地域があったから」は無職(47.8%、同+9.7%pt)や自営業・自由業(43.8%、同+5.7%pt)、世帯年収1,000万円～1,200万円未満(45.5%、同+7.4%pt)で、「そろそろ旅行へ行きたいと思っていたから」は専業主婦・主夫(42.7%、同+6.1%pt)や個人年収200万円未満(44.9%、同+8.3%pt)、世帯年収1,000万円～1,200万円未満(63.6%、同+27.0%pt)で、「行きたいホテルや旅館があったから」は専業主婦・主夫(28.2%、同+5.9%pt)や世帯年収200万円未満(29.0%、同+6.7%pt)で、「時間的な余裕があったから」は世帯年収800万円～1,000万円未満(29.3%、同+9.9%pt)で、「特に心配な感染状況ではないと思ったから」は個人年収600～800万円未満(18.8%、同+7.9%pt)が多い。

なお、以上にあげた全体と比べて何らかの理由が多い層のうち、60歳以上の割合(「全国旅行支援」利用・検討中の層全体では35.2%)が高いのは、職業別には無職(85.1%)や専業主婦・主夫(61.8%)、経営者・役員(58.3%)、自営業・自由業(45.8%)、個人年収200万円未満(50.7%)、世帯年収600万円未満(各層で5割前後)である。よって、これらの層で行きたい地域やホテル等があったという目的地も重視する理由が比較的多い背景には、前項で見たように、高齢層が多い影響があるのだろう。

また、世帯年収1,000万円～1,200万円未満でも目的地も重視する傾向が見られるが、当該層の60歳以上の割合は24.2%と低い。また、前述の通り、当該層では他層と異なり、首位が6割を超えて「そろそろ旅行へ行きたいと思っていたから」であった。よって、他層では「全国旅行支援」の割引額のコツをきっかけに旅行を考えた一方、高収入層では、もともと旅行需要があったところに「全国旅行支援」が始まり、これが後押ししたといったプロセスの違いがある様子がうかがえる。

図表9 職業や年収別に見た「全国旅行支援」を利用した・利用を考えた理由

(a) 職業別

	全体	経営者・ 役員	公務員 (管理職)	公務員 (一般)	正社員 (管理職)	正社員 (一般)	非正規	自営業・ 自由業	専業主婦 ・主夫	無職	学生
度数	696	12	29	42	51	167	130	48	131	67	13
割引額が魅力的だから	55.9	50.0	51.7	52.4	49.0	52.7	60.8	54.2	58.0	61.2	61.5
クーポン券が魅力的だから	45.7	50.0	62.1	50.0	39.2	42.5	50.0	39.6	46.6	38.8	69.2
行きたい地域があったから	38.1	33.3	31.0	28.6	33.3	35.9	40.8	43.8	37.4	47.8	46.2
そろそろ旅行へ行きたいと思っていたから	36.6	41.7	37.9	31.0	35.3	34.1	38.5	31.3	42.7	34.3	46.2
行きたいホテルや旅館があったから	22.3	41.7	24.1	14.3	19.6	18.6	23.1	16.7	28.2	25.4	23.1
時間的な余裕があったから	19.4	41.7	20.7	19.0	15.7	18.6	23.1	12.5	20.6	20.9	0.0
特に心配な感染状況ではないと思ったから	10.9	25.0	13.8	7.1	15.7	12.0	8.5	12.5	9.2	10.4	0.0
その他	2.9	8.3	0.0	2.4	2.0	2.4	1.5	6.3	4.6	3.0	0.0
特に理由はない	4.9	0.0	3.4	7.1	7.8	6.6	3.1	4.2	3.8	4.5	0.0

(b) 個人年収別

	全体	200 万未満	200~400 万未満	400~600 万未満	600~800 万未満	800~1000 万未満	1000 万円以上
度数	696	225	157	111	64	25	26
割引額が魅力的だから	55.9	61.3	53.5	59.5	45.3	48.0	50.0
クーポン券が魅力的だから	45.7	47.1	41.4	50.5	42.2	48.0	34.6
行きたい地域があったから	38.1	37.8	41.4	36.0	32.8	44.0	46.2
そろそろ旅行へ行きたいと思っていたから	36.6	44.9	35.7	34.2	31.3	24.0	15.4
行きたいホテルや旅館があったから	22.3	27.1	24.2	18.0	17.2	12.0	23.1
時間的な余裕があったから	19.4	22.7	19.7	21.6	21.9	16.0	15.4
特に心配な感染状況ではないと思ったから	10.9	11.1	11.5	8.1	18.8	8.0	19.2
その他	2.9	3.1	4.5	2.7	3.1	0.0	0.0
特に理由はない	4.9	1.8	3.2	4.5	14.1	4.0	19.2

(c) 世帯年収別

	全体	200 万未満	200~400 万未満	400~600 万未満	600~800 万未満	800~1000 万未満	1000~1200 万未満	1200~1500 万未満	1500 万円以上
度数	696	31	124	129	126	82	33	25	25
割引額が魅力的だから	55.9	71.0	55.6	65.1	54.0	51.2	51.5	56.0	40.0
クーポン券が魅力的だから	45.7	38.7	46.0	46.5	44.4	46.3	42.4	48.0	40.0
行きたい地域があったから	38.1	38.7	33.9	41.1	33.3	37.8	45.5	40.0	48.0
そろそろ旅行へ行きたいと思っていたから	36.6	32.3	32.3	38.8	34.9	40.2	63.6	28.0	28.0
行きたいホテルや旅館があったから	22.3	29.0	21.8	20.2	21.4	26.8	21.2	4.0	28.0
時間的な余裕があったから	19.4	16.1	15.3	23.3	15.9	29.3	24.2	20.0	24.0
特に心配な感染状況ではないと思ったから	10.9	0.0	11.3	12.4	11.9	12.2	12.1	12.0	20.0
その他	2.9	0.0	4.8	3.1	2.4	2.4	3.0	4.0	0.0
特に理由はない	4.9	0.0	3.2	3.9	6.3	4.9	0.0	8.0	20.0

(注1) 上から「特に理由はない」を除いて全体で選択割合の高い順

(注2) 全体より+5%以上をピンク色、-5%以下を水色で網掛け、斜字は参考値。

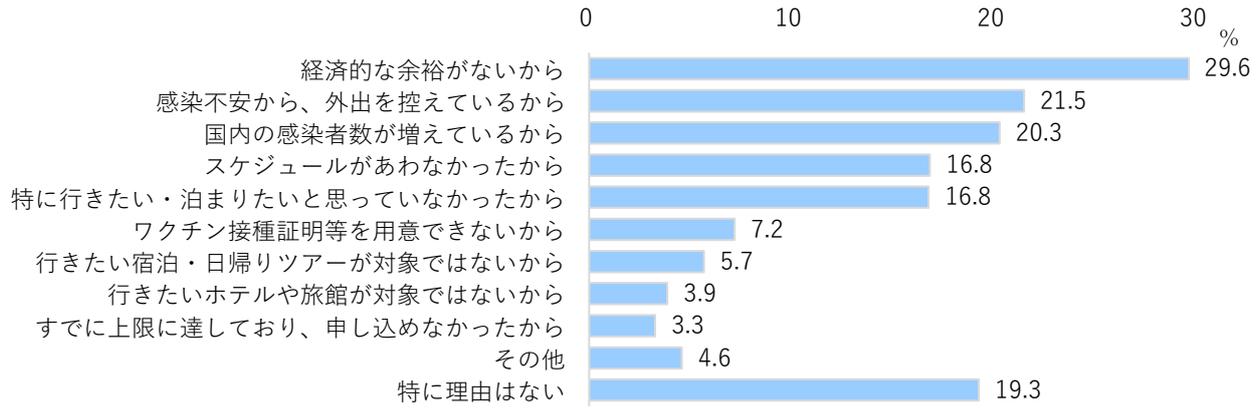
(資料) ニッセイ基礎研究所「第11回 新型コロナウイルスによる暮らしの変化に関する調査」

4—「全国旅行支援」を利用していない理由～経済的余裕のなさ、高齢層は感染不安、雇用者等は日程

1 | 全体の状況～最多は「経済的な余裕がないから」で29.6%、次いで感染不安が約2割

「全国旅行支援」の利用状況で「利用していない・利用予定はない」を選択した回答者に対して、利用していない理由を尋ねたところ、最も多かったのは「経済的な余裕がないから」(29.6%)であり、次いで「(新型コロナウイルスに対する)感染不安から、外出を控えているから」(21.5%)、「国内の感染者数が増えているから」(20.3%)までが2割を超えて続く(図表10)。なお、「特に理由はない」(19.3%)も約2割を占めて目立つ。

図表 10 「全国旅行支援」を利用していない理由（複数選択、n=1,657）



(注) 上から「特に理由はない」・「その他」を除いて選択割合の高い順

(資料) ニッセイ基礎研究所「第11回 新型コロナによる暮らしの変化に関する調査」

2 | 性年代やライフステージ別の状況～高齢層は感染不安、子育て世帯は経済的余裕のなさや日程あわず

性年代やライフステージ別に見ても、「経済的な余裕がないから」が上位を占めるが、70～74歳や孫誕生では首位に「感染不安から、外出を控えているから」があがる（図表11(a)・(b)）。

全体と比べると、「経済的な余裕がないから」は第一子高校入学（38.9%、全体より+9.3%pt）で、「感染不安から、外出を控えているから」は70～74歳（35.5%、同+14.0%pt）や60歳代（28.0%、

図表 11 性年代やライフステージ別に見た「全国旅行支援」を利用していない理由

(a) 性年代別

	全体	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70～74歳
度数	1657	834	823	159	224	378	343	429	124
経済的な余裕がないから	29.6	27.1	32.2	28.3	30.4	29.9	31.8	29.4	24.2
感染不安から、外出を控えているから	21.5	16.9	26.1	11.9	17.9	17.7	19.2	28.0	35.5
国内の感染者数が増えているから	20.3	17.1	23.5	11.3	16.5	16.1	20.7	25.9	30.6
スケジュールがあわなかったから	16.8	18.1	15.6	18.2	18.3	25.7	17.8	10.3	5.6
特に行きたい・泊まりたいと思っていなかったから	16.8	17.0	16.5	13.8	10.3	14.6	19.2	19.3	23.4
ワクチン接種証明等を用意できないから	7.2	6.5	7.9	10.1	8.0	9.5	7.0	4.4	4.8
行きたい宿泊・日帰りツアーが対象ではないから	5.7	7.1	4.3	5.0	3.1	6.3	4.4	7.5	6.5
行きたいホテルや旅館が対象ではないから	3.9	4.9	2.8	7.5	2.7	2.4	4.4	4.4	2.4
すでに上限に達しており、申し込みなかったから	3.3	3.5	3.0	3.8	8.0	2.4	3.8	1.4	1.6
その他	4.6	3.7	5.5	4.4	2.2	3.2	5.0	6.5	5.6
特に理由はない	19.3	24.1	14.3	30.2	25.4	16.9	19.5	15.2	14.5

(b) ライフステージ別

	全体	未婚・独身	結婚	第一子誕生	第一子小学校入学	第一子中学校入学	第一子高校入学	第一子大学入学	第一子独立	末子独立	孫誕生
度数	1657	597	190	67	96	53	54	67	101	142	290
経済的な余裕がないから	29.6	33.0	23.7	32.8	25.0	28.3	38.9	29.9	31.7	26.1	26.9
感染不安から、外出を控えているから	21.5	16.2	20.0	22.4	15.6	22.6	18.5	13.4	30.7	22.5	33.4
国内の感染者数が増えているから	20.3	16.8	23.7	17.9	12.5	20.8	16.7	7.5	22.8	26.8	27.9
スケジュールがあわなかったから	16.8	15.1	20.5	31.3	26.0	18.9	25.9	23.9	14.9	14.8	9.7
特に行きたい・泊まりたいと思っていなかったから	16.8	17.9	14.7	9.0	6.3	15.1	9.3	26.9	14.9	18.3	20.3
ワクチン接種証明等を用意できないから	7.2	5.5	10.5	7.5	14.6	7.5	7.4	7.5	8.9	5.6	5.9
行きたい宿泊・日帰りツアーが対象ではないから	5.7	4.9	6.8	4.5	3.1	7.5	1.9	10.4	5.0	9.2	5.5
行きたいホテルや旅館が対象ではないから	3.9	4.4	3.7	0.0	5.2	5.7	5.6	1.5	2.0	4.2	3.8
すでに上限に達しており、申し込みなかったから	3.3	3.7	2.6	13.4	3.1	0.0	5.6	4.5	2.0	2.1	1.4
その他	4.6	4.2	3.7	6.0	2.1	5.7	3.7	4.5	3.0	6.3	6.2
特に理由はない	19.3	24.0	17.9	19.4	20.8	13.2	13.0	13.4	21.8	18.3	13.1

(注1) 上から「特に理由はない」・「その他」を除いて全体で選択割合の高い順

(注2) 全体より+5%以上をピンク色、-5%以下を水色で網掛け。

(資料) ニッセイ基礎研究所「第11回 新型コロナによる暮らしの変化に関する調査」

同+6.5%pt)、孫誕生(33.4%、同+11.9%pt)、第一子独立(30.7%、同+9.2%pt)で、「国内の感染者数が増えているから」は70~74歳(30.6%、同+10.3%pt)や60歳代(25.9%、同+5.6%pt)、孫誕生(27.9%、同+7.6%pt)、末子独立(26.8%、同+6.5%pt)で、「スケジュールがあわなかったから」は40歳代(25.7%、同+8.9%pt)や第一子誕生(31.3%、同+14.5%pt)、第一子小学校入学(26.0%、同+9.2%pt)、第一子高校入学(25.9%、同+9.1%pt)、第一子大学入学(23.9%、同+7.1%pt)で、「特に(旅行へ)行きたい・(ホテルに)泊まりたいと思っていなかったから」は70~74歳(23.4%、同+6.6%pt)で、「ワクチン接種証明等を用意できないから」は第一子小学校入学(14.6%、同+7.4%pt)で、「すでに(行きたい地域やホテルの申し込み枠が)上限に達しており、申し込みなかったから」は第一子誕生(13.4%、同+10.1%pt)が多い。また、「特に理由はない」は20歳代(30.2%、同+10.9%pt)や30歳代(25.4%、同+6.1%pt)が多い。

つまり、「全国旅行支援」を利用していない主な理由は、感染による重篤化リスクの高い高齢層では外出自粛によるもの、子育て世帯では経済的な余裕のなさに加えて、学校生活と日程があわないことなどがあがる。

3 | 職業や年収別の状況～低収入層は経済的余裕のなさ、高収入層は希望なし、雇用者等は日程あわず

職業や年収別に見ると、無職や低収入層では「経済的な余裕がないから」が上位を占める一方、経営者や雇用者では「スケジュールがあわなかったから」が、高収入層では「特に行きたい・泊まりたいと思っていなかったから」が上位を占める(図表12(a)・(b))。

全体と比べると、「経済的な余裕がないから」は無職(36.7%、同+7.1%pt)や自営業・自由業(36.2%、同+6.6%pt)、個人年収200万円未満(36.0%、同+6.4%pt)、世帯年収200万円未満(53.9%、同+24.3%pt)で、「感染不安から、外出を控えているから」は専業主婦・主夫(28.7%、同+7.2%pt)で、「国内の感染者数が増えているから」は世帯年収1,200~1,500万円未満(33.3%、同+13.0%pt)で、「スケジュールがあわなかったから」は経営者・役員(31.3%、同+14.5%pt)や正社員(管理職)(27.4%、同+10.6%pt)、公務員(一般)(25.3%、同+8.5%pt)、公務員(管理職)(23.5%、同+6.7%pt)、正社員(一般)(22.0%、同+5.2%pt)、個人年収400万円以上のすべて、このうち特に1,000万円以上(35.3%、同+18.5%pt)、世帯年収1,500万円以上(23.7%、同+6.9%pt)や1,000万円~1,200万円未満(23.0%、同+6.2%pt)、600万円~800万円未満(22.4%、同+5.6%pt)で、「特に行きたい・泊まりたいと思っていなかったから」は経営者・役員(28.1%、同+11.3%pt)や個人年収800万円以上のすべて、このうち特に1,000万円以上(29.4%、同+12.6%pt)、世帯年収1,200万円~1,500万円未満(33.3%、同+16.6%pt)で、「行きたい宿泊・日帰りツアーが対象ではないから」は正社員(管理職)(12.3%、同+6.6%pt)や個人年収1,000万円以上(14.7%、同+9.0%pt)、世帯年収1,200万円~1,500万円未満(16.7%、同+11.0%pt)で、「行きたいホテルや旅館が対象ではないから」は正社員(管理職)(13.7%、同+9.8%pt)や経営者・役員(9.4%、同+5.5%pt)、個人年収1,000万円以上(11.8%、同+7.9%pt)、世帯年収1,200万円~1,500万円未満(11.1%、同+7.2%pt)で、「すでに上限に達しており、申し込みなかったから」は経営者・役員(12.5%、同+9.2%pt)が多い。また、「特に理由はない」は公務員(管理職)(35.3%、同+16.0%pt)や世帯年収1,500万円以上(31.6%、同+12.3%pt)が多い。

図表 12 職業や年収別に見た「全国旅行支援」を利用した・利用を考えた理由

(a) 職業別

	全体	経営者・役員	公務員(管理職)	公務員(一般)	正社員(管理職)	正社員(一般)	非正規	自営業・自由業	専業主婦・主夫	無職	学生
度数	1657	32	34	95	73	364	365	141	293	237	12
経済的な余裕がないから	29.6	12.5	8.8	27.4	20.5	26.1	32.3	36.2	29.0	36.7	33.3
感染不安から、外出を控えているから	21.5	9.4	8.8	20.0	16.4	15.9	22.5	21.3	28.7	25.3	8.3
国内の感染者数が増えているから	20.3	15.6	23.5	16.8	19.2	17.9	20.8	21.3	23.5	20.3	0.0
スケジュールがあわなかったから	16.8	31.3	23.5	25.3	27.4	22.0	20.8	14.2	9.9	5.1	0.0
特に行きたい・泊まりたいと思っていなかったから	16.8	28.1	17.6	13.7	11.0	16.2	16.2	15.6	17.1	21.5	8.3
ワクチン接種証明等を用意できないから	7.2	6.3	8.8	8.4	8.2	7.4	6.8	7.8	7.2	6.3	0.0
行きたい宿泊・日帰りツアーが対象ではないから	5.7	9.4	8.8	6.3	12.3	5.5	4.7	6.4	4.4	5.9	0.0
行きたいホテルや旅館が対象ではないから	3.9	9.4	5.9	0.0	13.7	4.1	3.3	3.5	2.7	3.4	8.3
すでに上限に達しており、申し込みなかったから	3.3	12.5	5.9	3.2	2.7	5.2	2.5	2.1	3.1	0.8	8.3
その他	4.6	0.0	0.0	4.2	0.0	4.9	3.8	4.3	5.8	7.2	0.0
特に理由はない	19.3	15.6	35.3	22.1	13.7	20.9	19.7	18.4	14.7	19.4	50.0

(b) 個人年収別

	全体	200万未満	200~400万未満	400~600万未満	600~800万未満	800~1000万未満	1000万円以上
度数	1657	631	352	227	94	50	34
経済的な余裕がないから	29.6	36.0	29.5	21.6	14.9	12.0	2.9
感染不安から、外出を控えているから	21.5	24.2	20.2	18.1	14.9	18.0	8.8
国内の感染者数が増えているから	20.3	20.4	21.6	17.6	14.9	16.0	14.7
スケジュールがあわなかったから	16.8	12.7	15.6	22.5	28.7	22.0	35.3
特に行きたい・泊まりたいと思っていなかったから	16.8	16.6	17.0	17.2	11.7	28.0	29.4
ワクチン接種証明等を用意できないから	7.2	7.1	5.4	9.7	7.4	6.0	5.9
行きたい宿泊・日帰りツアーが対象ではないから	5.7	5.1	5.4	7.5	6.4	6.0	14.7
行きたいホテルや旅館が対象ではないから	3.9	3.6	2.6	4.4	4.3	4.0	11.8
すでに上限に達しており、申し込みなかったから	3.3	2.4	3.1	6.2	2.1	6.0	2.9
その他	4.6	5.5	4.3	2.2	4.3	0.0	8.8
特に理由はない	19.3	17.6	20.2	20.7	22.3	22.0	23.5

(c) 世帯年収別

	全体	200万未満	200~400万未満	400~600万未満	600~800万未満	800~1000万未満	1000~1200万未満	1200~1500万未満	1500万円以上
度数	1657	154	316	349	201	134	61	36	38
経済的な余裕がないから	29.6	53.9	34.2	28.4	22.9	22.4	11.5	2.8	0.0
感染不安から、外出を控えているから	21.5	17.5	23.4	21.8	19.9	20.9	21.3	16.7	13.2
国内の感染者数が増えているから	20.3	16.2	19.9	20.6	22.9	12.7	19.7	33.3	10.5
スケジュールがあわなかったから	16.8	6.5	13.0	19.5	22.4	20.9	23.0	16.7	23.7
特に行きたい・泊まりたいと思っていなかったから	16.8	15.6	17.1	17.8	12.4	17.2	21.3	33.3	21.1
ワクチン接種証明等を用意できないから	7.2	5.8	3.8	10.3	7.5	9.0	9.8	5.6	2.6
行きたい宿泊・日帰りツアーが対象ではないから	5.7	4.5	4.7	5.7	7.0	7.5	4.9	16.7	5.3
行きたいホテルや旅館が対象ではないから	3.9	3.9	2.5	2.6	2.0	7.5	3.3	11.1	7.9
すでに上限に達しており、申し込みなかったから	3.3	0.6	1.9	3.4	4.0	6.7	4.9	2.8	5.3
その他	4.6	5.2	5.7	4.6	4.0	2.2	3.3	8.3	7.9
特に理由はない	19.3	19.5	18.7	17.5	17.9	22.4	19.7	11.1	31.6

(注1) 上から「特に理由はない」・「その他」を除いて全体で選択割合の高い順

(注2) 全体より+5%以上をピンク色、-5%以下を水色で網掛け。

(資料) ニッセイ基礎研究所「第11回 新型コロナによる暮らしの変化に関する調査」

なお、感染不安による理由が比較的多い専業主婦・主夫や世帯年収1,200~1,500万円未満では、60歳以上の割合が約半数を占めて高い。

以上より、「全国旅行支援」を利用していない主な理由は、高齢者の多い層では外出自粛、低収入層では経済的な余裕のなさ、高収入層では特に旅行の希望がない、あるいは希望（地域やホテル等）とあわないこと、また、経営者や雇用者では日程が確保できないことなどがあがる。

